

LEGENDARY とサンライズが世界に向けて新たなエンターテインメントを創出！

「機動戦士ガンダム」シリーズ ハリウッド実写版の共同開発を発表！

アニメーションを中心としたオリジナルIP (Intellectual Property: キャラクターなどの知的財産) を40年以上の長きに渡り創出し続けてきた株式会社サンライズ(バンダイナムコグループ、本社: 東京都杉並区、代表取締役社長: 宮河恭夫)と、数々の映画を世界的大ヒットに導いてきたLEGENDARY(本社: 米国、カリフォルニア州)は、サンライズの世界的人気アニメーション「機動戦士ガンダム」シリーズの実写映画を共同開発することにつき、契約を締結しました。

「機動戦士ガンダム」は、1979年に日本でTV放送が開始され、来年で40周年を迎えます。この40年の間にさまざまなシリーズを展開し、当時のファンだけでなく、年齢・性別を問わず幅広い層にご支持いただいております、その人気は、日本に留まらず、世界中に広がっています。

また、今年、LEGENDARY制作の「PACIFIC RIM: Uprising」やスティーブン・スピルバーグ監督作品「READY PLAYER ONE」といった大ヒット作品へ登場するなど、世界での注目が高まっています。

実写映画の詳細につきましては、決まり次第随時お知らせさせていただきます。



なお、Anime Expo 2018(7月5日～8日 Los Angeles Convention Center)にて開催したサンライズパネル(現地時間7月5日13時(日本時間7月6日5時)より開催)内にて、Cale Boyter氏(Executive Vice President of production/LEGENDARY)、Robert Napton氏(Senior Vice President of Publishing/LEGENDARY Comics)、田口三昭(株式会社バンダイナムコホールディングス代表取締役社長)、宮河恭夫(株式会社サンライズ代表取締役社長)が登壇し、この件につき発表を行いました。

この発表の模様を、下記サイトにて動画でご覧いただけます。

サンライズホームページ (<http://www.sunrise-inc.co.jp>)

ガンダムインフォ (<https://www.gundam.info/>)

LEGENDARY

LEGENDARY(米国、カリフォルニア州)は、映画、テレビ、配信、コミックなどさまざまなメディアを有するリーディングカンパニーとして、全世界に向けたコンテンツを制作、保有、発信し続けています。

これまで「PACIFIC RIM」シリーズ、「JURASSIC WORLD」シリーズ、「GODZILLA」など数々の世界的大ヒット作品を創出しており、

現在は「SKYSCRAPER」、「GODZILLA: KING OF THE MONSTERS」、実写映画「DETECTIVE PIKACHU」など話題作の制作を行っています。

なお、これまでの LEGENDARY ならびにそのグループ会社制作作品の全世界における映画の累計興行収入は140億ドルを超えています。

ホームページ:<https://www.legendary.com>



株式会社サンライズ

株式会社サンライズ(本社:東京都杉並区、代表取締役社長:宮河恭夫)

は、株式会社バンダイナムコホールディングス(本社:東京都港区、代表取締役社長:田口三昭)のグループ会社で、アニメーションを中心とした

映像制作スタジオとして、「機動戦士ガンダム」、「コードギアス」、「ラブライブ!」、「カウボーイビバップ」など人気シリーズを数多く手掛けています。

2018年4月からスタートしたバンダイナムコグループ新中期計画では、IPクリエイション

ユニットの主幹会社となり、アニメーションに限らず、さまざまな形でミッションである既存IPのイノベーションと新規IP創出により一層取り組んでおります。(IP: Intellectual Property キャラクターなどの知的財産)

ホームページ:<http://www.sunrise-inc.co.jp>



以上